



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

古民家主屋は雛人形飾りがいっぱい

ふじやま公園の梅林が梅の香りに満ち、雪をいただいた富士山がくっきり見える2月中旬から、古民家主屋には雛人形が飾られ、室内は華やかな雰囲気にあふれています。江戸時代後期嘉永年間のものから、昭和の段飾りまで10組以上を飾っています。人形の飾りは立雛から座り雛の平飾り、更に親王飾りと官女の二段飾り、そして五人囃子や調度



類が増え、大正時代に入ると、現在のような七段飾りになりました。

いつの世にも、お雛様を飾って子どもの健康と幸せを祈る親心は変わりません。時代により男雛と女雛の位置関係や人形の顔立ち、衣装の色彩、調度類の模様などが様々に変化していることをお楽しみください。

ちなみに、桃の節句である旧暦の3月3日(今年は3月30日)は桃が満開の時期です。ぜひお出かけください。

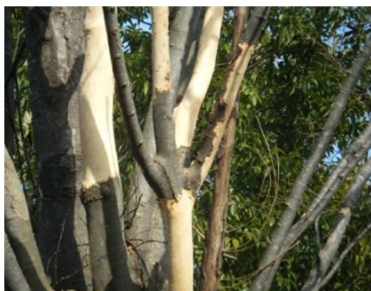
雛人形の展示期間：2月8日(水)～3月20日(月) 9時～17時

雛祭り呈茶席 雛人形を愛でながらお茶をどうぞ

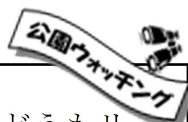
日時：3月5日(日) 11時～14時

お茶席券：300円 先着30名

公園のケヤキが危うい状態になっている。幹の中ほどに環状剥離が現れているのだ。どうもリスの仕業らしい。餌が少なくなってきたようなのだが、とくに異常気象というほどではなかった



ので、個体数が増えているのかもしれない。シカの被害にやられている丹沢では幹の根もとをネットで覆うなどの対策をとっているとも聞くが、リスでは上の方まで覆わなくてはならない。リスは繁殖期には細い木の枝を集めて樹上に巣を作り、木の葉が落ちた冬には巣が見えて、いい自然観察になるのだが、さてケヤキをどうしたものか。これも「自然」のうち、とあるがままにしておくのかどうか…。



◆ たくさんの落ち葉を集めました



冬らしい厳しい寒さが訪れた1月14日、第2回目の落ち葉掻きが開催されました。この日の参加者は20名。募集は10名でしたが全員当選としました。

前日の大風で、せっかくたまっていた落ち葉が斜面の上に吹き飛んでしまったため、足腰の元気な若者(?)は傾斜地で、

足元にちょっと不安のある人は低い場所で1時間半ほどの落ち葉掻きを満喫していました。

こうして皆で集めた落ち葉は、集積所で米ぬかや油粕を混ぜて踏み重ねられ、1年かけて腐葉土へと変身。この日の参加者に配られることとなっています。



◆ 文化財防火デーに、消火訓練が行われました



文化財防火デーの1月26日、ふじやま公園古民家エリアで消火訓練が行われました。主屋土間付近の火災報知機の発報で訓練を開始し、ボランティアの119番通報、来園者の退避誘導。初期消火の後、消防署員による救出、放水が行われました。近くの中野保育園の子どもたちも見学し、鮮やかな放水ぶりに拍手を送っていました。最後に栄消防署長から、最近大火があったことから日頃の予防活動が大切とのお話がありました。

古民家Q&A ざるとかご

Q：ざるとかごの違いは？

A：「ざる」も「かご」も竹製品の代表的なものです。

どちらも、竹の他に籐や柳などの素材を編んで作るものです。「ざる」は比較的浅く、小さめで、網目が細かく、主に調理用具に使われます。「かご」は深く、大きめで、網目は粗く用途は農具、生活用具と多方面にわたります。「かご」は容器として木製より軽く、通気性がよく、中のものが良く見えることから運搬具、収納、保存容器、野菜・食品の水切り、鳥や虫の飼養用具、狩猟・漁労の捕獲用具などに用いられました。



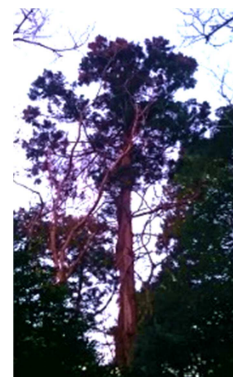
身の回りの「ざる」はそばの盛り器など活用されていますが水切りなど生活用具としてはステンレス製にとってかわられました。一方、「かご」は古民家納屋には当地の特産品であるパイスケ(港湾関係の運搬具として重宝されました)や背負い籠などが残されています。竹など天然素材を用いる「ざる」や「かご」は典型的なエコです。もっと見直したいものです。

ふじやま公園の植物

スギ

スギ科

本州から九州まで分布する日本固有の植物。名は真っすぐ育つ木「直木(スキ)」に由来。樹形は細長く直立し高さ50mにも達する。有名な屋久島の縄文杉は樹高25mにも達し、樹齢は4000年と推定される。花は2月～4月開花、風媒花で雄花が多量の花粉を飛ばすことで開花期は花粉症の原因となる。樹皮は褐色で剥がれやすく葉は線香の原料となる。公園では散策路附近や竹林の合間に自生している。



桜井小が今年も炭焼き実習をしました

ふじやま公園近くの桜井小5年生54人が、1月20日と2月7日に竹炭焼き実習を行いました。里山部会のボランティアに教わりながら、1月20日に竹を切って窯に詰め、翌日ボランティアが火入れして炭を焼き、2月7日に窯から焼きあがった竹炭を取り出しました。生徒た



ちは窯から出した炭を切ったり、袋に入れたりの作業をして「ちゃんと使えるといいな」と楽しそうでした。この他、1、2月には中学生の職場体験での炭焼きや、小学3年生の「むかしの暮らし」実習などで、たくさんの生徒が公園を訪れました。

『いりり辺雑記』 から (原文のまま)

- ◆ おもちつきにきました。いつもおもちおいしいです。
10回以上やらせてもらいました。
(市内、10歳以下、家族で、行事に)
- ◆ 歴史は好きでした。でもこれをみてもっと好きになりました。(市内、10代、家族で)



平成29年3月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	3日(金)	古民家歴史部会 部会	12日(日)
農芸部会 部会	13日(月)	古文書解読勉強会	5日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	1日(水)
里山部会 作業	11日(土) 12日(日) 18日(土) 26日(日)	クリーンアップ	7日(火) 21日(火)
工作棟部会 部会	8日(水)	広報部会	
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	4日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	11日(土)
		ホームページ制作打合せ	2月26日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	3月19日(日)10時～11時 〃 13時～14時	竹トンボを作って飛ばそう	無料	当日先着順 各10名
絵手紙教室 (全4回)	4月11日(火)13時～16時 4月18日(火) 〃 5月 9日(火) 〃 5月16日(火) 〃	はがき絵の基本を学び実際に画いてみましょう	600円	3月28日(火) 12名
初心者茶道 体験教室	4月15日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	3月31日(金) 5名
押し花	4月21日(金)13時～16時	春の草花を愛らしく花額にデザインします	2,000円	4月12日(水) 6名
フラワー アレンジメント	4月27日(木)13時30分～ 15時30分	母の日にも最適な優しいアレンジ	2,000円	4月14日(金) 8名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 いろりの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：3月16日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端 定 員：15名 当日参加自由 無料

★ お花見の会 (予告)

日 時：4月2日(日) 10時～13時 雨天中止

場 所：古民家前庭

内 容：模擬店、郷土芸能、ゲーム、お茶席など

★ 竹林整備(筍掘り) (予告)

日 時：4月16日(日) 9時30分～12時 雨天中止

場 所：公園内の竹林 炭焼き広場

内 容：竹林の整備 筍掘り

定 員：100名

申込み：往復はがきにて、1枚のはがきに4名まで申込み可

締 切：3月23日(木)



1月ふじやま公園来園者数 1月度来園者数 1,735名 28年度累計 18,182名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(3月1日)
- ・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時(3月7日、21日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593